



One for Children, All for Children

久我山青光学園

学園便り 11月号

校長 宮田 守

令和6年10月31日発行

いよいよ毎年恒例の久我山青光フェスタ

今年のスローガンは『みんな光かがやき、たのしもう青光フェスタ』

副校長 月崎 泰照

毎年のことなのですが、この時期になると職員室や教室の電気が夜遅くまで点いていることが多くなります。働き方改革が推奨されている折でもあり、退勤を促すと「あともう少しだけ～」と返ってくるこの頃です。

先生方の帰りが遅くなるのは、来る11月8日（金）～9日（土）に行われる久我山青光フェスタの準備のため、それぞれの担当する業務にとことん力を入れているためです。大道具、小道具、音楽、セリフなどの細かな部分を調整しながら、子供たちが日頃の学習の成果を存分に発揮できるよう、毎日のように作業をしています。

今年度の試みとして、久我山青光フェスタを視覚・知的両部門同日開催といたしました。昨年度までは部門別の日程で実施していましたが、同日開催とすることで、それぞれの部門で行っている活動を身近に感じることができるようになります。そのために、今年度はこれまでの時間設定や、演目それぞれの持ち時間などの見直しを行いました。また、久我山青光フェスタのための特別な学習を最小限に抑え、日頃の学習の成果を存分に発揮できるよう工夫してそれぞれの発表を構成しています。保護者の皆様にはお道具や衣装などでの御協力をいただき、ありがとうございます。御家庭で御用意くださったものを舞台上で使用することで「僕のために」「私のために」御用意くださったことに感謝しながら、当日は存分にいいところをアピールしてくれることでしょう。

そして、この久我山青光フェスタでは、毎年、子供たちが考えたスローガンを掲げています。このスローガンのもと、全ての幼児・児童・生徒が一丸となって当日を迎えます。今年のスローガンは『みんな光かがやきたのしもう青光フェスタ』です。乞う御期待！

視覚障害教育部門 中学部3年 藤元 佑弥

9月18日～20日にかけて、群馬県高崎方面へ行きました。

一日目は横川駅へ行き、名物『峠の釜めし』を食べ、碓氷峠鉄道文化むらへ行きました。昔の鉄道に触れたり、ミニ蒸気機関車に乗ったりしました。宿舎は、磯部温泉の宿に泊まりました。

二日目は、貸し切りバスで移動しました。午前中は、富岡製糸場へ行き、歴史的な建造物や器械製糸工場を見学し日本の文化の歴史を学ぶことができました。午後はこんにやくパークへ行き、みんなで足湯を楽しんだ後、こんにやくソフトクリームを味わいました。

三日目は、だるまの手形体験をしました。それぞれ気に入った色のだるまを選び、手形入れをしました。とても素敵なものができました。

出発するときは不安な様子も見られましたが、帰ってくる時は、一回りも二回りも成長したように感じました。生徒にとっても思い出に残る修学旅行になったことでしょう。



知的障害教育部門 中学部3年 横内 一晃

10月9日～11日の二泊三日の日程で、横浜方面へ修学旅行に行きました。

一日目は、中華街の揚州飯店で肉まんや餃子作り体験そして中国語講座を受けました。肉まんや餃子の皮の生地は手にのせて丁寧につけて食べました。中国語講座はクイズ形式で盛り上がり、いくつかの中国語を覚えて使う生徒もいました。

二日目は、長井海の手公園ソレイユの丘のアニマルヴィレッジへ行きました。アルパカ、犬、うさぎやかめなど、たくさんの動物に触ることができました。動物が少し怖い生徒もいましたが、ほとんどの生徒は優しくなでて動物との触れ合いを楽しむことができました。その後、新江の島水族館に移動し、イルカショーを見たり、幻想的なクラゲの展示を楽しんだりしました。

三日目は、はまぎん宇宙科学館でプラネタリウムを鑑賞し、雷の科学実験を見たり、宇宙トレーニングセンターで体を動かしたりしました。午後は、横浜コスモワールドでたくさんの乗り物に乗りました。宿泊の食事も美味しく味わうことができ、三日間で思い出が盛りだくさんの修学旅行になりました。